



# 2013年3月期 決算説明会

---

2013年5月13日

南海電気鉄道株式会社

---

# 本日の内容

1. 2013年3月期決算の概要 ..... P 2
2. セグメント別の状況(2013年3月期) ..... P 6
3. 2014年3月期の業績予想 ..... P17
4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況 ..... P22





# 1. 2013年3月期 決算の概要

# 1. 2013年3月期決算の概要

## 1) 業績ハイライト

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率	増減理由
営業収益	181,869	184,412	2,542	1.4	●営業収益 東日本大震災や台風からの回復に加え、LCC就航便数増加に伴い、運輸業において増収となったほか、他の各セグメントにおいても増収
営業利益	18,294	21,973	3,679	20.1	●営業利益 増収に伴う増益に加え、費用削減努力もあり増益
経常利益	11,067	15,474	4,407	39.8	●経常利益 営業増益に加え、支払利息の減少が寄与し増益
当期純利益	5,686	7,518	1,832	32.2	

# 1. 2013年3月期決算の概要

## 2) 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2012年3月末	2013年3月末	増減額	増減理由
流動資産	83,535	87,171	3,635	●流動資産 有価証券の増加
固定資産	706,055	694,418	△11,636	●固定資産 連続立体交差化工事の竣工に伴う工事負担金相当額圧縮や減価償却の進捗等による有形固定資産の減少
資産合計	789,591	781,589	△8,001	
負債合計	653,988	638,413	△15,575	●負債 有利子負債の減少
純資産	135,602	143,176	7,574	●純資産 剰余金の配当による減少があったものの、当期純利益の計上や、その他有価証券評価差額金の増加による増加
負債純資産合計	789,591	781,589	△8,001	
有利子負債残高	480,346	469,699	△10,646	借入金の返済による減少

# 1. 2013年3月期決算の概要

## 3) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	37,764	37,332	△431	●営業活動によるキャッシュ・フロー 仕入債務の減少等による支出の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△20,228	△15,719	4,508	●投資活動によるキャッシュ・フロー 敷金及び保証金の回収等による収入の増加
財務活動による キャッシュ・フロー	△16,162	△13,592	2,570	●財務活動によるキャッシュ・フロー 借入金の返済の減少等による支出の減少
現金及び現金 同等物の期末残高	18,935	26,955	8,020	



## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### セグメントの構成状況 (2013年3月末現在)

【連結子会社53社・非連結子会社11社・関連会社7社(うち持分法適用会社3社)】

増減(対 2012年3月末現在)

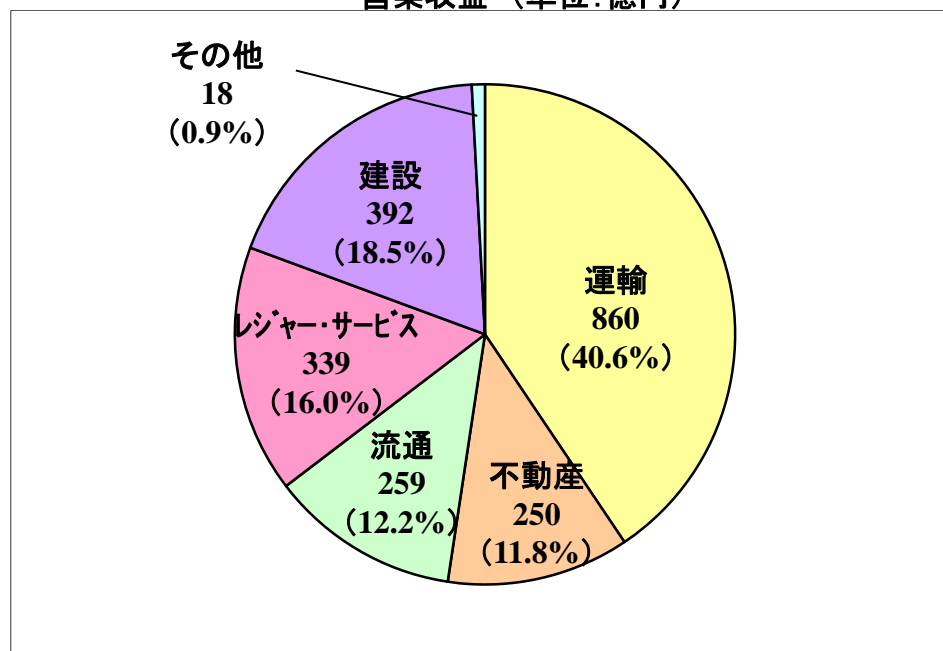
連結子会社の増加 1社:南海ライフレーション株式会社

関連会社の増加 2社:PT. NANKAI AGL、NIHON CELLONPACK(THAILAND)CO., LTD.

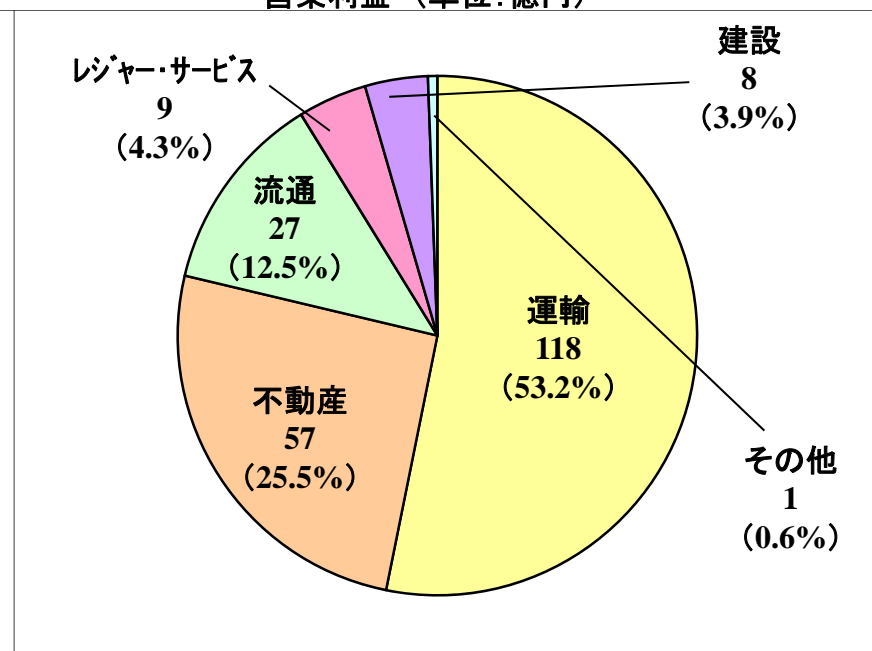
運輸業 (31社)	不動産業 (4社)	流通業 (8社)	レジャー・サービス業 (23社)	建設業 (5社)	その他の事業 (4社)
--------------	--------------	-------------	---------------------	-------------	----------------

※当社は複数セグメントに重複して含まれております。

営業収益 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)





## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 1) セグメント別営業収益

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
運 輸 業	84,394	86,097	1,702	2.0
不 動 産 業	24,592	25,023	431	1.8
流 通 業	25,040	25,978	938	3.7
レジャー・サービス業	33,741	33,940	198	0.6
建 設 業	39,009	39,280	271	0.7
そ の 他 の 事 業	1,402	1,801	399	28.4
調 整 額	△26,310	△27,710		
合 計	181,869	184,412	2,542	1.4

※2012年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、セグメント区分を一部変更しており、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 2)セグメント別営業利益

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率
運 輸 業	10,348	11,896	1,547	15.0
不 動 産 業	5,093	5,715	622	12.2
流 通 業	1,544	2,795	1,251	81.0
レジャー・サービス業	616	962	345	56.0
建 設 業	867	875	7	0.9
そ の 他 の 事 業	151	131	△20	△13.7
調 整 額	△328	△401		
合 計	18,294	21,973	3,679	20.1

※2012年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、セグメント区分を一部変更しており、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 3) 運輸業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率	増減理由
鉄 道 事 業	54,210	55,223	1,012	1.9	●鉄道事業及びバス事業 東日本大震災や台風からの回復に加え、LCC就航便数増加による増収
軌 道 事 業	1,438	1,424	△14	△1.0	
バ ス 事 業	24,651	25,393	741	3.0	
海 運 業	1,855	1,877	22	1.2	
貨 物 運 送 業	3,678	3,668	△9	△0.3	
車 両 整 備 業	4,592	4,694	101	2.2	
調整額(セグメント内)	△6,031	△6,183			
営 業 収 益	84,394	86,097	1,702	2.0	
営 業 利 益	10,348	11,896	1,547	15.0	
減 価 償 却 費	12,561	11,857	△704	△5.6	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	13,588	12,290	△1,298	△9.6	

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全 線			2012年3月期	2013年3月期	増減率
旅客収入	定 期 外		29,047	30,114	3.7
	定 期		22,548	22,398	△0.7
	合 計		51,596	52,513	1.8
輸送人員	定 期 外		85,466	87,182	2.0
	定 期		138,018	137,947	△0.1
	合 計		223,484	225,129	0.7

(単位:百万円・千人・%)

空港線			2012年3月期	2013年3月期	増減率
旅客収入	定 期 外		3,215	4,000	24.4
	定 期		1,085	1,116	2.8
	合 計		4,301	5,116	19.0
輸送人員	定 期 外		3,829	4,877	27.4
	定 期		3,414	3,525	3.3
	合 計		7,243	8,402	16.0

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 4) 不動産業の実績 (増収増益)

(単位: 百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率	増減理由
不動産賃貸業	18,387	18,333	△53	△0.3	●不動産販売業 分譲マンションの販売増加による増収  ●主な利益内訳 不動産賃貸業 7,402(+180) 不動産販売業 △1,685(+395)
不動産販売業	6,801	7,081	280	4.1	
調整額(セグメント内)	△596	△392			
営業収益	24,592	25,023	431	1.8	
営業利益	5,093	5,715	622	12.2	
減価償却費	4,698	4,206	△491	△10.5	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,596	4,303	706	19.6	

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 5) 流通業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率	増減理由
ショッピングセンターの経営	9,901	9,723	△177	△1.8	●ショッピングセンターの経営 2012年3月にしんかなCITYの営業を終了したこと等による減収
駅ビジネス事業	14,244	14,537	292	2.1	
その他	2,022	3,163	1,140	56.4	●その他 2012年3月に完全子会社化した南海リテールプランニング(株)による増収
調整額(セグメント内)	△1,128	△1,445			
営業収益	25,040	25,978	938	3.7	
営業利益	1,544	2,795	1,251	81.0	
減価償却費	3,617	3,250	△367	△10.2	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,778	2,671	△107	△3.9	

※2012年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、セグメント区分を一部変更しており、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 6) レジャー・サービス業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率	増減理由
遊園事業	1,033	1,016	△16	△1.6	●ホテル・旅館業 東日本大震災や台風からの回復に伴う宿泊者数増加による増収  ●ボートレース施設賃貸業 開催日数減少に伴う舟券売上の減少による減収  ●その他 葬祭事業の店舗数増加による増収
旅行業	1,877	1,906	29	1.6	
ホテル・旅館業	906	1,135	228	25.2	
ボートレース施設賃貸業	5,137	4,705	△432	△8.4	
ビル管理メンテナンス業	19,799	19,829	29	0.2	
印刷業	832	824	△8	△1.0	
広告代理業	1,171	1,219	47	4.0	
その他	5,143	5,385	242	4.7	
調整額(セグメント内)	△2,160	△2,082			
営業収益	33,741	33,940	198	0.6	
営業利益	616	962	345	56.0	
減価償却費	1,690	1,468	△222	△13.2	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,807	2,276	469	26.0	

※2012年4月1日付で実施した駅ビジネス再編に伴い、セグメント区分を一部変更しており、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたうえで算出しております。

## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 7) 建設業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率	増減理由
建設業	39,030	39,326	295	0.8	●建設業 完成工事高の増加による増収
調整額(セグメント内)	△21	△45			
営業収益	39,009	39,280	271	0.7	
営業利益	867	875	7	0.9	
減価償却費	159	166	6	4.3	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	75	139	63	84.4	



## 2. セグメント別の状況(2013年3月期)

### 8) その他の事業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2012年3月期	2013年3月期	増減額	増減率	増減理由
そ の 他	1,406	1,805	399	28.4	●その他業 本社移転に伴うシステム構築収入の増加による増収
調整額(セグメント内)	△3	△3			
営 業 収 益	1,402	1,801	399	28.4	
営 業 利 益	151	131	△20	△13.7	
減 価 償 却 費	7	6	△1	△14.1	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2	9	6	278.1	



### 3. 2014年3月期の業績予想

# 3. 2014年3月期の業績予想

## 1) 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2013年3月期			2014年3月期		増減理由
	実績(A)	修正予想(B)※1	差異(A-B)	予想(C)	差異(C-A)	
営業収益	184,412	193,000	△8,587	195,700	11,287	<p>●営業収益 流通業における駅ナカ商業施設の開業や建設業における受注拡大による増収</p> <p>●営業利益 鉄道事業における電力料金値上げによる減益</p> <p>●投資額 成長戦略投資による増加</p> <p>●有利子負債残高 投資額の増加による増加</p>
営業利益	21,973	21,100	873	21,400	△573	
経常利益	15,474	14,100	1,374	14,800	△674	
当期純利益	7,518	7,900	△381	8,500	981	
投資額	21,690	36,500	△14,809	36,900	15,209	
減価償却費	20,428	20,600	△171	21,000	571	
EBITDA※2	42,402	41,700	702	42,400	△2	
有利子負債残高	469,699	489,300	△19,600	472,100	2,400	
有利子負債残高 ／EBITDA倍率	11.1倍	11.7倍		11.1倍		

※1 修正予想(B)は2012年10月31日時点の数値

※2 EBITDA= 営業利益+減価償却費

# 3. 2014年3月期の業績予想

## 2) セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	2013年3月期			2014年3月期		増減理由
	実績 (A)	修正予想 (B)※1	差異 (A-B)	予 想 (C)	差異 (C-A)	
運 輸 業	86,097	85,300	797	86,200	102	●運輸業 空港関連輸送増加による増収
不 動 産 業	25,023	25,000	23	25,700	676	●不動産業 不動産販売業における分譲マンションの 販売増加による増収
流 通 業	25,978	26,300	△321	28,200	2,221	●流通業 駅ビジネス事業における駅ナカ商業施設 開業による増収
レジャー・ サービス業	33,940	35,100	△1,159	33,700	△240	●レジャー・サービス業 ビル管理メンテナンス業における工事収 入の減少による減収
建 設 業	39,280	45,700	△6,419	41,600	2,319	●建設業 受注拡大による増収
そ の 他 の 事 業	1,801	1,800	1	1,400	△401	
調 整 額	△27,710	△26,200		△21,100		
合 計	184,412	193,000	△8,587	195,700	11,287	

※1 修正予想(B)は2012年10月31日時点の数値

# 3. 2014年3月期の業績予想

## 2) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2013年3月期			2014年3月期		増減理由
	実績 (A)	修正予想 (B)※1	差異 (A-B)	予 想 (C)	差異 (C-A)	
運 輸 業	11,896	11,200	696	11,000	△896	●運輸業 鉄道事業における電力料金値上げ及び バス事業における燃料費増加による減 益
不 動 産 業	5,715	5,600	115	6,100	384	
流 通 業	2,795	2,600	195	2,100	△695	●不動産業 不動産販売業における増収及びたな卸 資産評価損の計上額減少による増益
レジャー・ サービス業	962	1,000	△37	1,400	437	●流通業 ショッピングセンターリニューアルに伴う 減収及びリニューアル関連経費計上による減益
建 設 業	875	1,100	△224	700	△175	●レジャー・サービス業 葬祭事業における増収による増益
そ の 他 の 事 業	131	100	31	100	△31	
調 整 額	△401	△500		0		●建設業 粗利益率低下に伴う減益
合 計	21,973	21,100	873	21,400	△573	

※1 修正予想(B)は2012年10月31日時点の数値

# 3. 2014年3月期の業績予想

## 4) 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線		2012年3月期 実績	対前年 増減率	2013年3月期 実績	対前年 増減率	2014年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	29,047	△1.2	30,114	3.7	30,134	0.1
	定期	22,548	△1.6	22,398	△0.7	22,354	△0.2
	合計	51,596	△1.4	52,513	1.8	52,489	△0.0
輸送人員	定期外	85,466	△1.3	87,182	2.0	87,390	0.2
	定期	138,018	△1.1	137,947	△0.1	137,912	△0.0
	合計	223,484	△1.1	225,129	0.7	225,302	0.1

(単位:百万円・千人・%)

空港線		2012年3月期 実績	対前年 増減率	2013年3月期 実績	対前年 増減率	2014年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	3,215	△1.3	4,000	24.4	4,102	2.5
	定期	1,085	△4.0	1,116	2.8	1,128	1.1
	合計	4,301	△2.0	5,116	19.0	5,230	2.2
輸送人員	定期外	3,829	△2.1	4,877	27.4	5,249	7.6
	定期	3,414	△3.7	3,525	3.3	3,565	1.1
	合計	7,243	△2.9	8,402	16.0	8,814	4.9



## 4. 中期経営計画「凜進130計画」 の進捗状況

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### 「凜進130計画」の基本方針と数値目標(2011年度～2014年度)

#### 基本方針

- ① 観光・インバウンドビジネスの推進
- ② 不動産・流通事業の拡大
- ③ 新たな事業領域への進出
- ④ なんばのまちづくり推進
- ⑤ グループ経営基盤の強化

#### 数値目標(最終年度2015年3月期)

- ① 連結営業収益 2,300億円以上
- ② 連結経常利益 130億円以上
- ③ 連結有利子負債残高／EBITDA倍率 10倍台

※ EBITDA=営業利益+減価償却費



# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ①観光・インバウンドビジネスの推進(1/3)

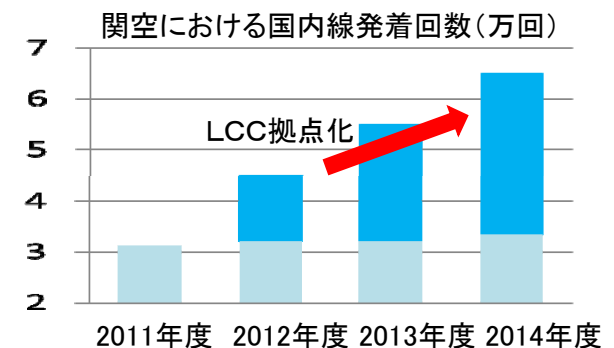
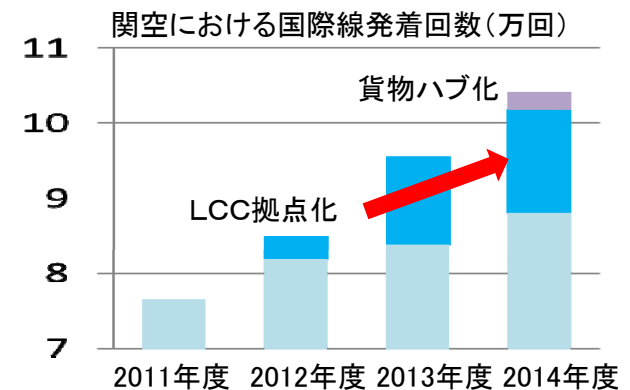
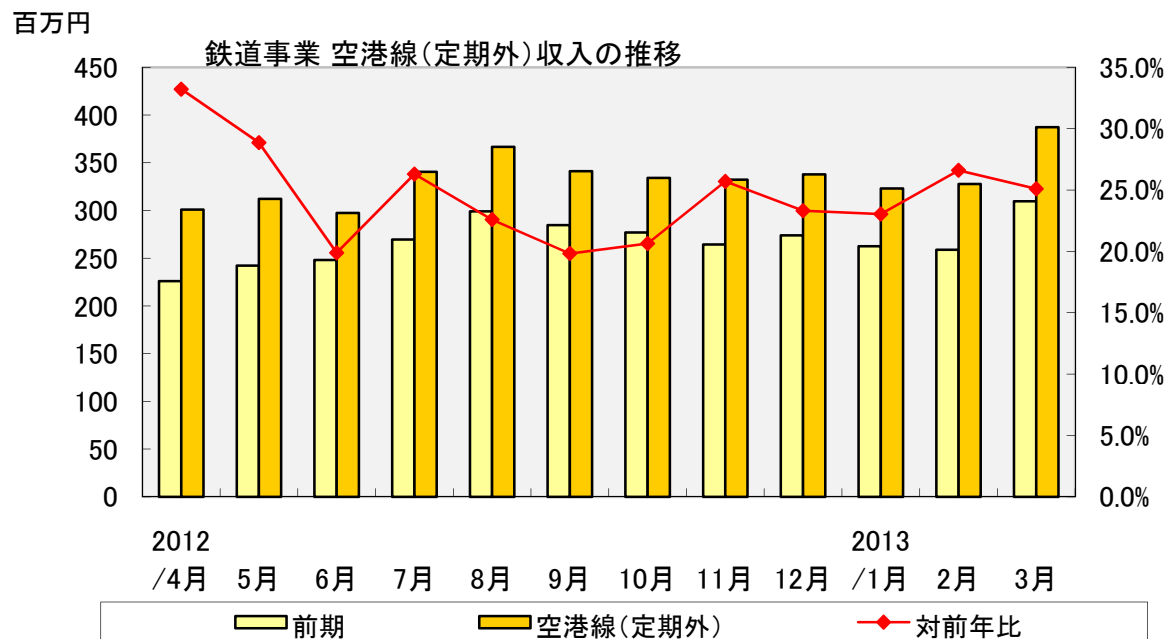
### ◇旅客需要の取込み

#### ◆鉄道事業の収益力強化

- 「関空トク割 ラピートきっぷ」発売(2012年12月)
- ジェットスターグループと提携(2013年4月)
- 関空と関西各地を結びつけるアクセスきっぷのラインナップ拡充。空港線定期外の旅客需要堅調



空港特急「ラピート」



新関西国際空港(株)の中期経営計画より  
当社作成

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### 鉄道アクセスきっぷのラインナップ

発売価格は大人(片道)

#### 関西主要都市へのアクセスきっぷ

商品名	発売開始	区間	提携先	発売価格
関空ちかトクきっぷ	2012年4月	関空～大阪市内	大阪市交通局	980円
京都・関空アクセスきっぷ	2011年5月	関空～京都	大阪市交通局、阪急電鉄	1,200円
奈良アクセスきっぷ	2012年4月	関空～奈良	近鉄電車	1,200円
神戸・関空アクセスきっぷ	2012年5月	関空～神戸	阪神電車	1,100円

#### LCC旅客向け

商品名	発売開始	区間	提携先	発売価格
Peach・なんばきっぷ	2012年3月	関空～なんば	ピーチ・アビエーション(以下「ピーチ」)	※1,000円
Peach・京都観光きっぷ	2012年12月	関空～京都+京阪線京都1日乗車券	ピーチ、大阪市交通局、京阪電車	1,500円
ジェットスター・ナカイきっぷ	2013年4月	関空～なんば	ジェットスターグループ	※1,000円

#### 海外からの訪日インバウンド旅客向け

商品名	発売開始	区間	提携先	発売価格
ようこそ大阪きっぷ	2010年10月	関空～なんば+大阪市交通局1日乗車券	大阪市交通局	※1,500円

※レール特急券付

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ①観光・インバウンドビジネスの推進(2/3)

#### ◆関空リムジンバス等の収益力強化

関空のLCC専用ターミナルの開業(2012年10月)に合わせて路線の一部延伸、ターミナル間のシャトルバスの運行を開始。

また、梅田線・なんば線の早朝・深夜便の時間帯を拡大するなど、需要の取込みを強化

#### 梅田線の始発と最終便(片道運賃1500円)

早朝便	梅田(発)	関空(着)
	午前3時3分	午前4時16分
深夜便	関空(発)	梅田(着)
	午前1時15分	午前2時37分



関西国際空港リムジンバス

#### なんば線の始発と最終便(片道運賃1000円、※1500円)

早朝便	なんばOCAT(発)	関空(着)
	午前5時40分	午前6時28分
深夜便※	関空(発)	南海なんば駅(着)
	午後11時45分	午前0時55分

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ①観光・インバウンドビジネスの推進(3/3)

#### ◇観光・インバウンド需要の取込み

##### ◆BtoCの強化

- ・グローバルサイト(4言語対応)を全面リニューアル。  
訪日インバウンド旅客への観光情報提供や南海グループが持つ観光資源のPR強化を図る



グローバルサイト「How To ENJOY OSAKA」

##### ◆訪日インバウンド旅客の受け入れ強化

- ・なんばCITY、なんばパークスの免税対応店舗を拡充し、集客を強化
- ・Sibos2012(国際金融会議)では、南海グループの会議・飲食・宿泊施設、バス輸送等で幅広く受け入れ実施(2012年10~11月)

##### ◆海外でのセールス・プロモーションの実施

- ・東アジア各国(韓国、台湾、香港等)での現地エージェントへのセールス・プロモーション。鉄道乗車券や流通施設クーポン券等を販売
- ・中国本土のエージェントへメディカルツアー営業を強化

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ②不動産・流通事業の拡大(1/5)

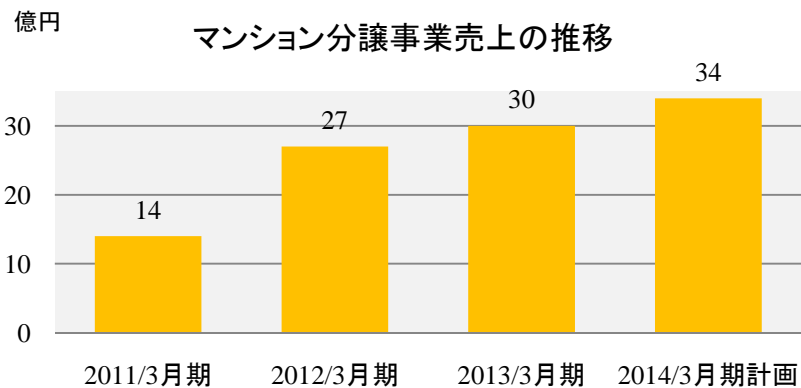
### ◇マンション分譲事業の拡大

#### ◆沿線エリア内外においてマンション分譲事業を展開

主な分譲マンション

※他社との共同事業物件

名称	所在地	戸数	竣工
デラッセ天王寺玉造	大阪市天王寺区	56戸	2012年12月
神戸三宮ブリーズレジデンス※	神戸市中央区	56戸	2013年3月
ヴェリテ永和駅前	東大阪市	69戸	2013年8月(予定)
ヴェリテ帝塚山万代	大阪市住吉区	44戸	2013年10月(予定)
ヴェリテ山本駅前テラス	八尾市	86戸	2014年7月(予定)



ヴェリテ永和駅前(イメージ)

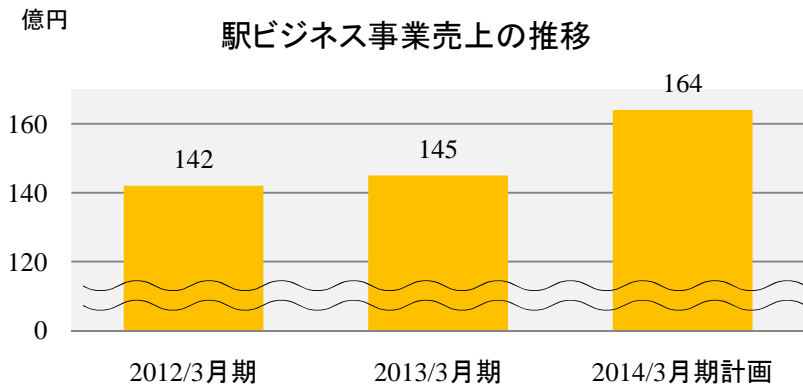
# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ②不動産・流通事業の拡大(2/5)

◇収益基盤の拡充 ～小売・飲食事業等の強化・拡大、PM機能強化～

### ◆駅ビジネス事業の拡大

駅及び駅周辺の立地を有効利用。  
自社の駅構内に限らず、他社の鉄道沿線にも展開



### ○沿線外展開

御堂筋線天王寺駅に「駅ナカ」商業施設「ekimo(エキモ)」開業(2013年4月)  
女性向けの服飾雑貨を中心にコンビニやドラッグストアなど11店舗が出店  
2013年秋になんば駅、2014年春に梅田駅と順次開業

#### 【ekimo天王寺 店舗概要】

店舗面積:約614㎡

店舗数:11店舗(コンビニ「アンスリー」、ドラッグストア「ココカラファイン」他)

売上目標:年商18億円

共同事業者:東急不動産株式会社

乗降客数:大阪市営地下鉄天王寺駅 約25万人/日

(2011年度実績)



ekimo天王寺

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ②不動産・流通事業の拡大(3/5)

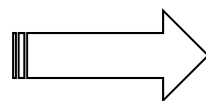
### ○コンビニエンスストア事業の拡大

沿線エリア外や駅ナカ立地以外へも積極的に出店

- ・アンスリー 南海なんば第1ビル店(2013年2月)
- ・アンスリー ekimo天王寺店(2013年4月)

2013年3月期

年商 42億円  
店舗数 27店舗



2015年3月期 目標

年商 56億円  
店舗数 29店舗



アンスリー 南海なんば第1ビル店



アンスリー ekimo天王寺店

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ②不動産・流通事業の拡大(4/5)

### ◆流通小売事業の拡大

なんばCITY館内や沿線エリア外施設を中心に新業態拡大。  
当社が店舗の経営主体を担い、店舗運営は専門事業者に委託。  
多店舗展開を目指す



スタイルディーなんばCITY店

**文具小売事業**    ステーションリーや雑貨を通じて、豊かなライフスタイルを提供

店名	開業	年間売上目標	店舗面積
スタイルディー なんばCITY店	2012年9月	30百万円	約50㎡
スタイルディー イオンモール鶴見緑地店	2013年3月	30百万円	約30㎡

**食品物販事業**    輸入食品の他、カフェを併設し、“食”を軸にしたライフスタイルを提供

店名	開業	年間売上目標	店舗面積
デリステーション&カフェ なんばCITY店	2013年2月	75百万円	約270㎡

**服飾雑貨小売事業**    カジュアルトートバックを中心に心地よいライフスタイルを提供

店名	開業	年間売上目標	店舗面積
ルートートギャラリー ディアモール大阪店	2013年5月(予定)	60百万円	約50㎡



# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ②不動産・流通事業の拡大(5/5)

### ◇既存商業施設のブラッシュアップ

～なんば商業施設の収益力向上～

梅田(キタ)・天王寺(アベノ)の大規模開発が進むなか、地域が連携したエリアプロモーション、利用促進につながる各種施策、さらにはインバウンド旅客など新たな顧客層の開拓により、なんばエリア全体で集客力を高める

#### ◆なんばエリアプロモーション

- ・Zepp Namba(OSAKA)オープニングライブ(2012年4月)
- ・「NAMBA FASHION FESTA」を開催(2012年9月、2013年3月)
- ・イルミネーション「なんば光旅」(2012年11月～2013年2月)

#### ◆なんばパークス・なんばCITYの利用促進

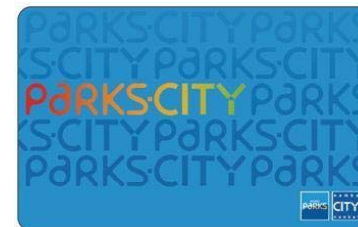
- ・共通ポイントカード「PARKS・CITY CARD」の発行(2013年4月)
- ・共通駐車場サービスの開始(2013年4月)



「NAMBA FASHION FESTA」でのトークショー&ファッションショー(2013年3月)

施設概況

	なんばパークス	なんばCITY
売上高(2013年3月期)	272億円	292億円
店舗面積	約52千㎡	約33千㎡
店舗数	約255店舗	約270店舗



PARKS・CITY CARD

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ③新たな事業領域への進出(1/1)

#### ◇現行事業の周辺事業、新規事業や公共関連ビジネスへの展開

##### ◆太陽光発電事業に参入

ボートレース住之江のスタンド上に太陽光発電パネルを設置

- ・発電能力 0.5メガワット
- ・売電収入 20百万円/年
- ・投資額 180百万円
- ・発電開始 2013年秋(予定)



ボートパーク住之江

- ##### ◆ボートレース住之江外向発売所「ボートパーク住之江」オープン(2013年4月)
- 全国で展開されるレースの舟券を、年間最大360日、1日最大4場・48レースを発売  
【発売目標金額】 34百万円/日

- ##### ◆パーク&ライドサービスの展開(2012年10月)
- 堺駅前の商業施設「プラットプラット」の駐車場に導入。  
新たなサービスの展開で鉄道の乗客増につなげる



プラットプラット

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ④なんばのまちづくり推進(1/2)

#### ◇なんばのまちづくり

※木津市場とは・・・

民営の卸売市場。江戸時代から大阪の台所として賑わう。民営としては、日本最大級の規模を誇る。

- ◆「道頓堀エリア」からZepp Namba(OSAKA)や木津市場※など多彩な魅力が集まる「なんばの南端エリア」まで、ミナミ全体を活性化

#### ○なんばの南端エリアの活性化

- ・本社を南海会館ビルから南海なんば第1ビルに移転(2013年2月)
- ・同ビルの2・3階に大阪府立大学の新拠点「I-siteなんば」※オープン(2013年4月)  
大阪府立大学と南海電鉄によるなんばと南大阪地域の活性化策の一環  
なんばから新たな観光・文化・地域を発信する



南海なんば第1ビル



I-siteなんば

※I-site(アイサイト)なんばとは・・・

“観光”を専門とする社会人大学院や研究所の他、まちライブラリー@大阪府立大学、セミナールームを有する。大阪観光のプロデューサーを育て、観光や地域文化の情報を発信していく。

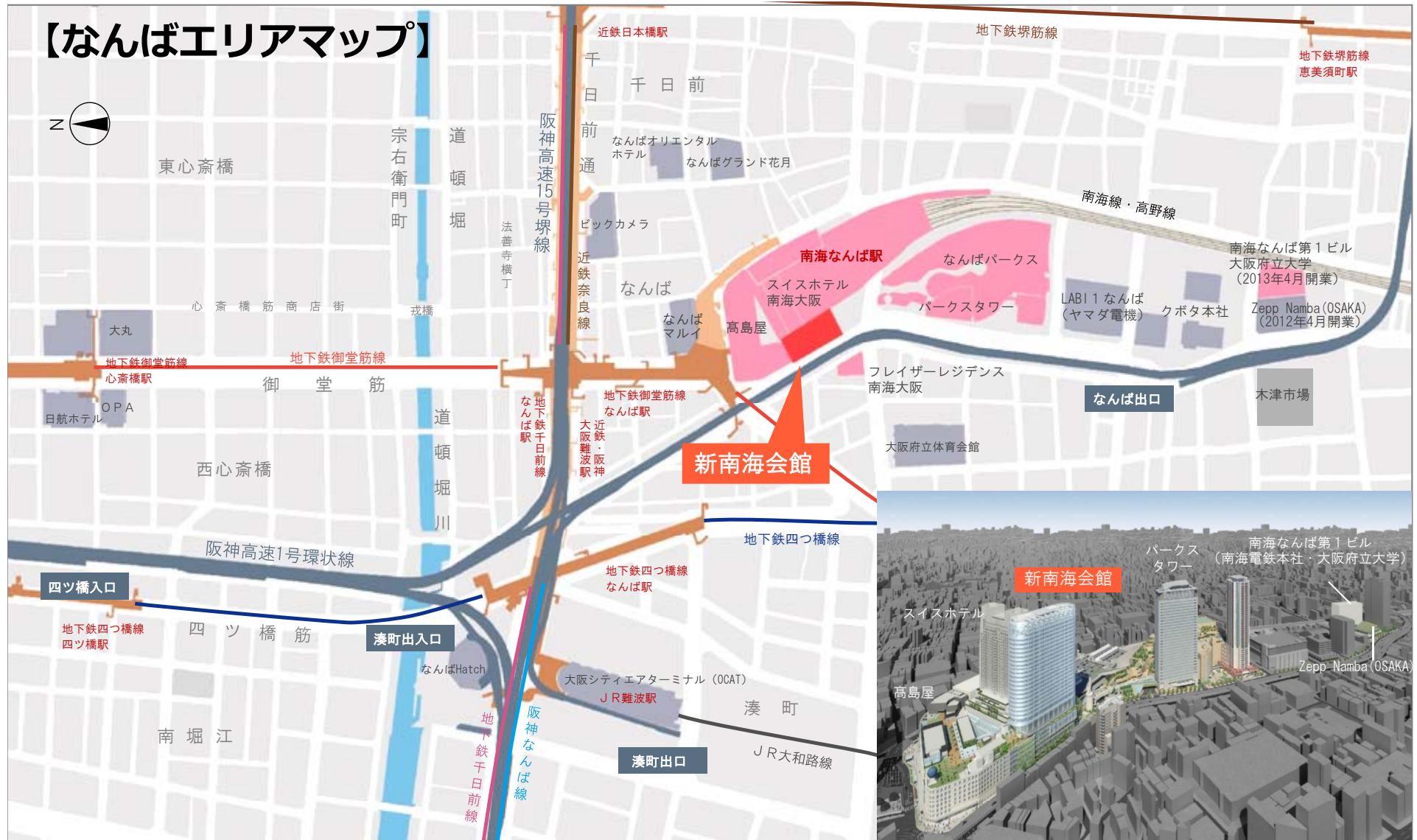
#### ○道頓堀エリアの活性化

- ・とんぼりリバーウォークイルミネーション(2012年12月～2013年2月)
- ・とんぼり乾杯バルフェスタ(2013年3月)



イルミネーション

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

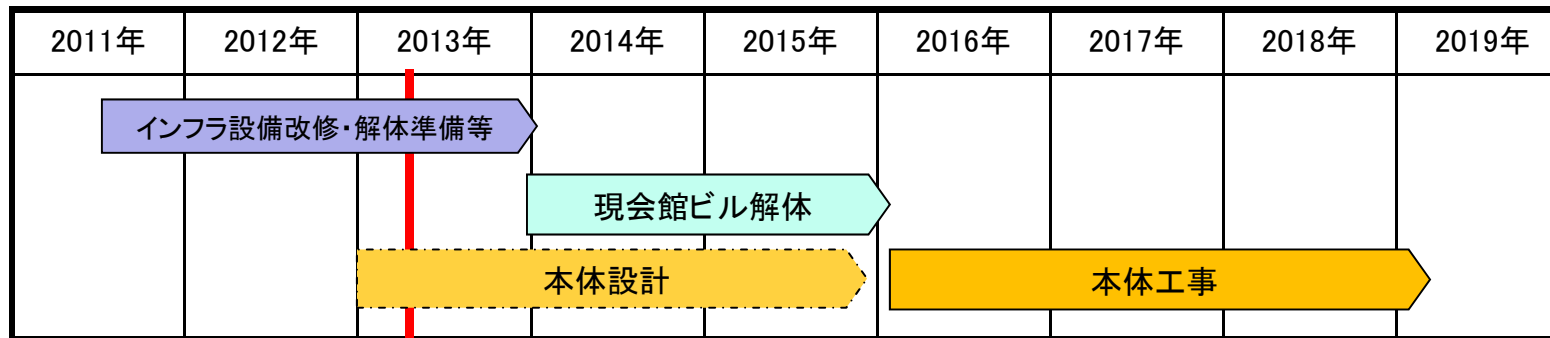


# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ④ なんばのまちづくり推進(2/2)

### ◇ 南海会館ビル建替計画

#### ○ 建替スケジュール

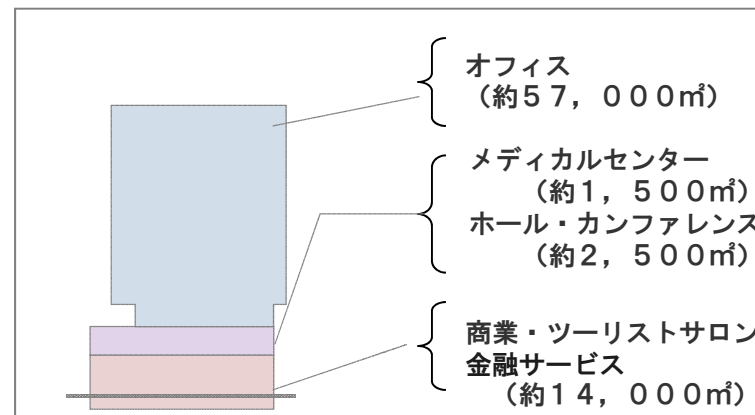


現在

#### ○ 建築概要

階数	地上29階 地下2階
高さ	154m
建物用途	事務所、店舗、ホール・カンファレンス、医療施設(予定)
延床面積	約78,000㎡
総事業費	約400億円
竣工予定	2019年春

#### ◆ 施設構成イメージ



※その他、設備関係3,000㎡ 36

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ◆主な取組み

2003年

2009年

2013年

2019年

なんばエリアの新たな価値創造

都市機能の充実による国際化対応と周辺地域、  
施設との相乗効果を図り、「なんば」の価値向上を目指す



パークスタワー



なんばパークス



南海ビル外壁美装化



フレイザーレジ  
デンス南海大阪



南海なんば第1ビル



新南海会館イメージ  
(建替推進中)

- 2003年 9月 パークスタワー開業
- 2003年 10月 なんばパークス第1期開業
- 2007年 4月 なんばパークス全館グランドオープン
- 2009年 9月 南海ビル外壁美装化工事完成
- 2009年 10月 なんばギャラリー誕生
- 2010年 10月 サービスアパートメント「フレイザーレジデンス南海大阪」開業
- 2011年 4月 なんばCITY再生リニューアルグランドオープン
- 2011年 7月 南海会館ビル建替え先行工事着手
- 2012年 4月 Zepp Namba(OSAKA)開業
- 2013年 2月 南海なんば第1ビル完成・本社移転
- 2013年 4月 大阪府立大学の新たな拠点 I-site(アイサイト)なんばオープン



なんばギャラリー



Zepp Namba(OSAKA)

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ⑤グループ経営基盤の強化(1/3)

#### ◇効率的な事業体制の構築

##### ○鉄道事業における生産性向上施策の推進

- ・駅務遠隔制御システムの拡大等により、業務の効率化及び省力化を図り、要員体制を見直す
- ・機器見直しにより保守コストの削減を図る

#### ◇グループ利益の最大化

##### ○駅ビジネスの再編・強化

沿線各駅での駅ビジネス事業を南海商事グループへ集約後、重複する駅コンビニを整理、統合。収益力向上を図るとともに、仕入原価の削減に取り組む

##### ○レンタカー事業からの撤退(2012年10月)

不採算事業から撤退することにより収支改善を図る

##### ○ゴルフ事業の再編(2012年10月)

ゴルフ場運営会社2社を南海ゴルフマネジメント(株)の傘下におさめ、営業力の強化を図る

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ⑤グループ経営基盤の強化(2/3)

#### ◇沿線の活性化の取組み

- 河内長野市との「包括的連携協力に関する基本協定」に基づく取組み  
「まちづくり」「教育・子育て支援」「定住・転入の促進」「観光振興」の4つをテーマとして掲げ、沿線及び地域の魅力向上を目的とした協業を実施
  - ・市内を舞台にした市の魅力をPRするドラマの映像制作の受託
  - ・「奥河内」エリアのイメージ訴求に協力
  
- 大阪府立大学との「地域活性化協定」に基づく取組み  
産学連携により、観光戦略を通じて「大阪ミナミ・南大阪地域」の活性化に取り組む
  - ・南海なんば第1ビルへの大阪府立大学の誘致
  - ・「I-siteなんば」「まちライブラリー@大阪府立大学」の開設
  
- 和歌山大学と「地域活性化連携に関する協定書」締結(2013年2月)  
和歌山市をはじめとする南海沿線および高野山、南紀方面等、和歌山県全域における地域活性化に関する施策を観光・文化・地域プロデュースを中心に連携して推進
  - ・和歌山大学前駅開業記念品・和歌山北西部の観光エリアマップ共同制作
  - ・加太線の100周年記念ロゴマークの制作を同大学が担当
  - ・みさき公園「Night Zoo」にて観光学部と連携し、学生によるイベント実施
  - ・南海フェリーの活性化(船内でのコラボイベント開催) 他



## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ⑤グループ経営基盤の強化(3/3)

◇「安全・安心の追求」「サービスの向上」

#### ◆連続立体交差事業の推進

輸送の安全性向上と踏切における事故の抜本対策として、南海本線(堺市内、高石市内、泉大津市内)の立体交差化を推進

#### ◆駅バリアフリー化整備工事の推進

2012年度は、和歌山市駅でバリアフリー化工事を完了  
2013年度は、羽倉崎駅、樽井駅で計画



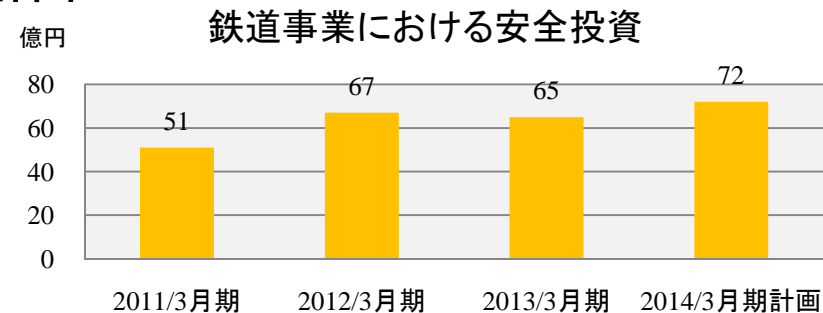
和歌山市駅に新設したエレベーター

#### ◆鉄道事業における安全投資

必要な安全対策を計画的に実施。設備の充実や更新などに2012年度は65億円を投資、2013年度は72億円を計画

##### 【2013年度計画の主な工事】

- ・新型ATS導入
- ・駅耐震補強工事(なんば駅他)
- ・車両の新造及び更新

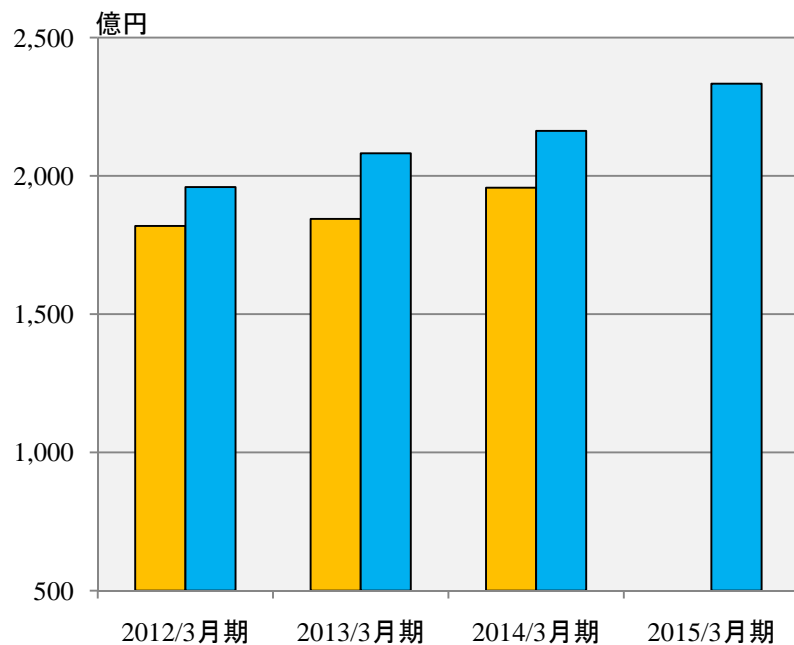


# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ◆ 中期経営計画の進捗状況(1/2)

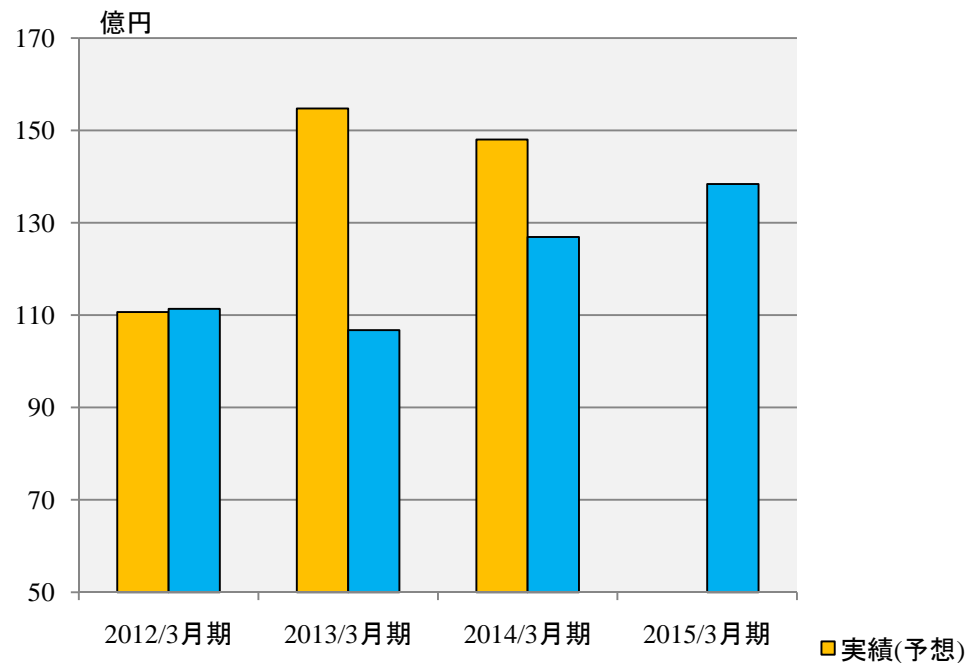
### 連結営業収益

M&A・成長戦略の進捗遅れ他により計画には未達



### 連結経常利益

収益性の向上、コスト削減、支払利息の減少により、計画を上回る実績



■ 実績(予想)

■ 当初計画

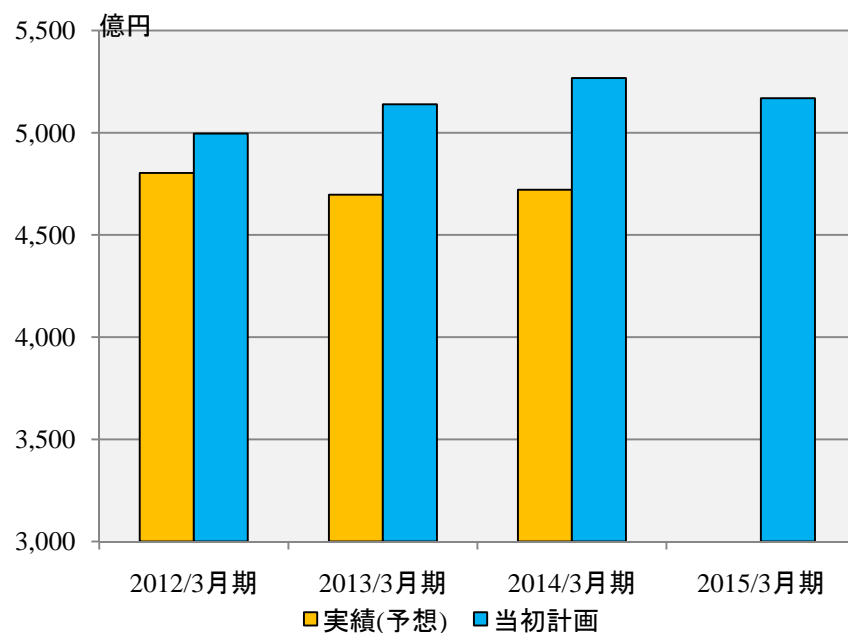
41

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ◆ 中期経営計画の進捗状況(2/2)

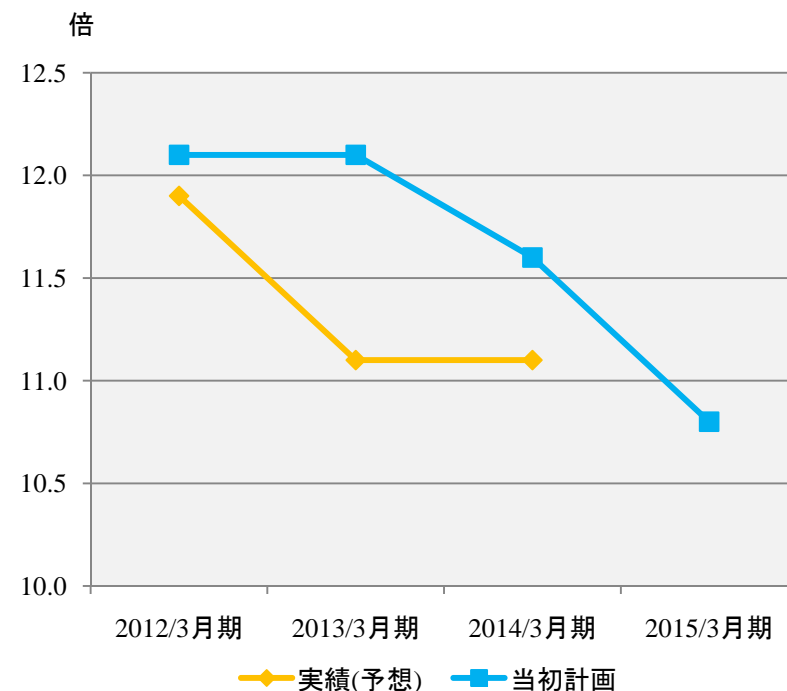
### 連結有利子負債残高

成長戦略投資の未実施、営業キャッシュフローの増加により減少



### 連結有利子負債・EBITDA倍率

連結有利子負債残高の減少により改善



# IRのお問い合わせ先

## 南海電気鉄道株式会社

〒556-8503 大阪市浪速区敷津東2-1-41

(2013年2月12日に移転しました。)

経営政策室 経営企画部(IR担当)

TEL:06-6644-7105 FAX:06-6644-7108

URL:<http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

# MEMO